

令和5年度 津市立上野小学校経営方針

学校教育目標

心豊かに たくましく 生きる子ども

<学校の現状と課題>

- ・保護者や地域の人々は、学校に対する関心が高く、協力的である。子どもたちは、体験学習や登下校の見守り等で保護者や地域の人々に支えられている。
- ・子どもたちが自分の思いを伝え合い重ね合わせようとする仲間づくりを進めている。
- ・基礎学力や、自分の考えを言葉や文で表現できる力を高め、主体的に行動する力を育成していく必要がある。
- ・特別な支援が必要な児童の理解や適切な具体的支援方法、教員の指導力の向上を図る必要がある。

<めざす子ども像>

進んで学ぶ子ども
心豊かな子ども
たくましく生きる子ども

<めざす学校像>

- ・子どもたちにとって、今日が楽しく明日が待ち遠しい学校
- ・保護者や地域に信頼され、親しみが感じられる学校
- ・教職員がやりがいを感じられる学校

<具体的な取り組み>

組織的に子どもたちを支援する

- ・日常的に、職員全体で子どもたちの情報交換をする雰囲気をつくる。
- ・生活のきまりについて、職員全体で共通理解を図るとともに、ブレのない指導に努める。
- ・定期的に生徒指導委員会や特別支援教育委員会等を開催し、きめ細かく子どもたちを支援する体制について点検し、よりよい体制づくりを推進する。

その他

- ・常に職員同士が支え合うよう心がけ、総勤務時間の縮減を図る。

深く子どもたちを支援する

- ・担任を中心に、子どもたちの実態を把握し、職員全体で、子どもたちの指導にあたる。
- ・子どもたちが自分の思いを伝え合い重ね合おうとする仲間づくりを進める。
- ・基礎学力の重視と、学習指導要領・GIGAスクール構想を見据えた指導方法の改善を図る。
- ・各教科・領域を通して、自分の考えを言葉や文で表現できる力を高める。
- ・様々な行事や活動において、子どもたちの思いや考えを伝え合うような場づくりに努める。

広く子どもたちを支援する

- ・各種の便りを定期的に発行するなどして、担任等の思いや願いを広く伝える。
- ・ゲストティーチャーを招いた学習を積極的に実施し、その人の生き方や思いに出会わせる。
- ・日常的な保護者とのコミュニケーションを大切にし、より深い信頼関係を構築する。
- ・学校・保護者・地域・関係機関が連携して子どもたちを支援するネットワークづくりを推進する。
- ・「教育活動」「学校運営」の側面から学校自己評価を実施し、学校運営協議会等の意見を参考にして、PDCAマネジメントサイクルに組み込み、学校改善に役立てる。